学校番号	3029

令和８年度 学ＳＳ理数

教科	学ＳＳ理数	科目	(学) 信念（まこと）（課題研究分野）	単位数	(学)信念(情報分野)と合わせて１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド 2nd Edition（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学校設定科目「信念（まこと）」では国語科・地歴公民科・英語科の教員により、研究者として必要なスキルである読む力、まとめる力、論文作成能力、プレゼンテーション能力を養成する。課題の設定方法、情報の収集方法、論文作成、発表の仕方について学習し、相互批評を取り入れた学習を行う。日常的に新聞・ニュース等で様々な事柄に対する関心を高めると共に、生徒研究発表会や講演会などに積極的に参加し、主体的に情報収集を行う習慣をつけてほしい。

2　学習の到達目標

「読む力」「まとめる力」を基礎として、「課題の設定」「文献・資料の収集」「問い・答え・論拠の整理」に関する知識・技能、研究成果を日本語さらには英語でまとめて発表する「論文作成能力」「プレゼンテーション能力」、研究発表において「質疑応答する態度」を身につける。これにより、１年次後期の「理想（のぞみ）」、２年次以降の「サイエンス探究」「ライフサイエンス」「総合探究」に繋げていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識･技能	b:思考･判断･表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	課題研究の目標の理解 文献調査の方法 文献の読み方・まとめ方 プレゼンテーション方法 今後に向けた課題設定の視点	左記の知識・技能の項目を理解して文献調査を行い、文献の要旨を論理的にまとめることができる。 聞き手の立場に立って、自ら調べて理解したことを表現（プレゼンテーション）できる。 文献調査を通して、今後につながる課題を設定している。	授業並びに春季・夏季の文献調査に主体的に取り組んでいる。 主体的に発表・質疑応答を行い、それを通して学んでいる。 文献調査から、主体的に取り組める課題を見つけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分して評価する。			

4　学習評価（評価規準と評価方法）

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期前半	課題研究の意義	春季文献調査の実施	春季文献調査が整理されている	文献調査シート	文献調査シート	文献調査シート
		春季文献調査と相互発表	積極的に発表している		プレゼン資料	質疑応答の記録
		課題研究の意義の理解	課題研究の意義を理解している	活動シート		
	文章の読み方・まとめ方	「問い」「答え」を整理する	「問い」「答え」の明確化	活動シート	活動シート	
		「論拠」を整理する	「論拠」の明確化	活動シート	活動シート	
		パラグラフハンバーカーの作成	春季文献調査の再整理		活動シート	活動シート
前期後半	課題設定と調査方法	課題設定とは	課題の明確化について理解する	活動シート	活動シート	
		先行研究調査・反対意見の重要性	客観的多面的視点を身につける	活動シート	活動シート	
		文献調査の方法	文献を探す方法を身につける	活動シート	活動シート	
	文献調査と発表	夏季文献調査の実施	夏季文献調査が整理されている	文献調査シート	文献調査シート	文献調査シート
		発表・質疑応答	発表・質疑応答（英語を含め）		プレゼン資料	質疑応答の記録
		まとめ（振り返りとこれから）	今後に向けての研究課題の整理		文献調査シート	文献調査シート

※　表中の観点について　a ：知識・技能　b ：思考・判断・表現　c ：主体的に学習に取り組む態度